

令和元年度 第30回関東高等学校バスケットボール新人大会

令和2年2月8日(土)

女子

1回戦

緑が丘スポーツ公園体育館

Cコート

第2試合

チームA 東海大学付属相模高等学校 (神奈川県)	104	30	1st	9	46	茨城県立竜ヶ崎第二高等学校 (茨城県)
		25	2nd	8		
		26	3rd	16		
		23	4th	13		
			OT			

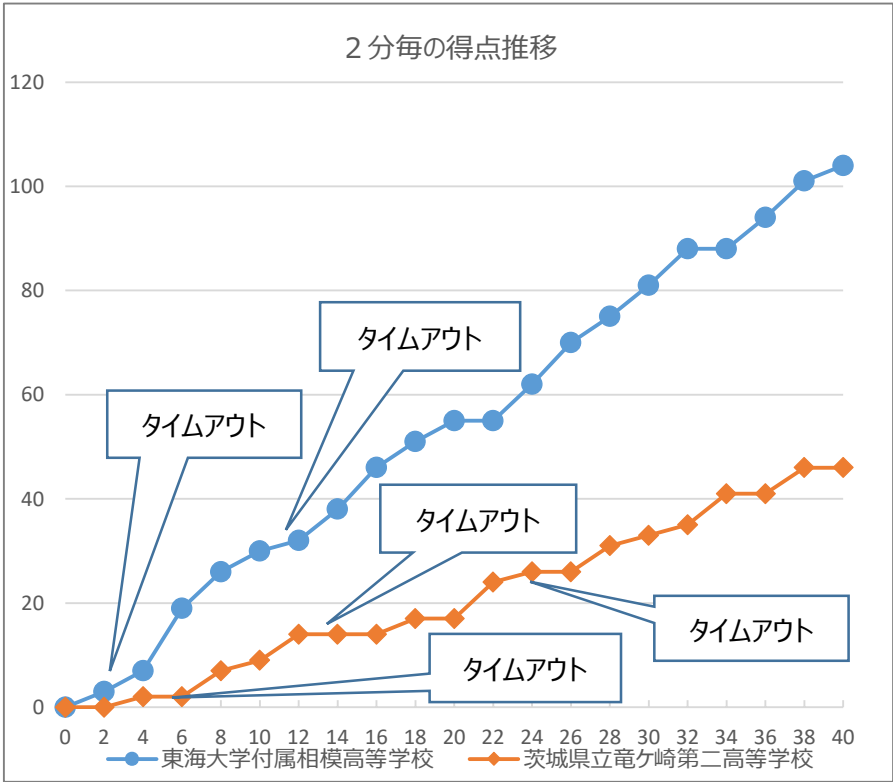
Aチーム： 東海大学付属相模高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		7	和田 緒実	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2		13	奥村 凜	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
3	*	14	楠本 杏実	13	0	0	5	17	3	5	2	6	4	10
4		15	福世 七夏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
5		17	宮本 あみ	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0
6		18	小屋原 優衣	5	0	1	1	2	3	3	0	1	0	1
7	*	19	立澤 遥香	21	0	2	7	14	7	8	1	0	0	0
8	*	22	中野 雛菜	37	0	0	14	23	9	16	2	8	12	20
9		24	込山 里奈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10		25	石岡 耶江梨	2	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0
11	*	28	岩崎 芽生	15	0	1	6	12	3	8	2	4	20	24
12		31	石井 千華音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	*	33	殖栗 佳乃	7	1	3	1	4	2	2	1	1	1	2
14		35	荒井 まどか	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0
15		39	片岡 那珠	3	0	0	1	3	1	4	1	0	3	3
HC/TEAM			大石 宏志									3	5	8
			合計	104	1	7	35	77	31	52	10	23	47	70

Bチーム： 茨城県立竜ヶ崎第二高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	関口 凜	13	1	9	3	20	4	10	4	1	1	2
2	*	5	加藤木 朱里	0	0	1	0	3	0	0	5	0	3	3
3		6	岡上 いのり	2	0	0	0	2	2	2	3	0	1	1
4	*	7	中川 乃愛	2	0	0	1	3	0	0	5	0	1	1
5	*	8	田中 楓花	11	3	6	1	4	0	0	3	2	2	4
6		9	片芝 美怜	0	0	0	0	3	0	0	5	1	0	1
7	*	10	富田 乃愛	8	2	11	1	9	0	0	1	2	6	8
8	*	11	山下 みなみ	3	1	5	0	2	0	0	4	0	1	1
9		12	岩本 捺貴	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
10		13	大橋 由依	2	0	1	0	0	2	2	1	2	1	3
11		14	飯田 凜											
12		15	安海 有紗	2	0	0	1	1	0	0	3	2	0	2
13		16	今井 星虹	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
14		17	木村 波音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15		18	館 春菜											
HC/TEAM			宮田 宗典									3	2	5
			合計	46	8	34	7	48	8	14	36	13	18	31

No: 背番号 S: スターター PTS: 総得点 FG: フィールドゴール FT: フリースロー M: 成功数 A: 試投数 F: ファウル OR: オフェンス・リバウンド DR: ディフェンス・リバウンド TOT: リバウンド合計数



戦評

記載者：三澤 寛(山梨県高体連)

1Q：東海相模は2-3ゾーンディフェンス、竜ヶ崎第二はオールコートマンツーマンディフェンスから始まる。お互いシュートまでいくが決められない展開が続く。東海相模#19のシュートから東海相模がオフェンスのリズムをつかみ、センター#22、#28のゴール下にボールを集め得点を重ねていく。竜ヶ崎第二もメンバー交代などで激しいディフェンスからボールを奪いに行くが、シュートが決まらない。1Q終了して30対9と東海相模がリードする。

2Q：2Qも東海相模は、ゴール下のリバウンドを#22、#28が攻守に奪う展開となる。2Q終了し55対17で東海相模が大きくリードする。

3Q：3Qは竜ヶ崎第二がオフェンスのリズムをつかみ連続得点をする。東海相模もタイムアウトをとり、タイムアウト後、東海相模#22の連続ゴールからオフェンスのリズムをつかむ。竜ヶ崎第二は#4がオフェンスの起点となり攻撃するが、得点に結びつかない。3Q終了して81対33で東海相模がリード。

4Q：4Qは竜ヶ崎第二#4のフリースロー、#8、#10の3Pの連続得点するが、東海相模も#22にボールを集め得点する。竜ヶ崎第二も#4を起点として攻撃するチャンスをつかむが得点差が縮まらない。最終スコアは102対46で東海相模が2回戦へ進出した。

主審	第1副審	第2副審
円谷 怜美(千葉県)	澤田 昌宏(山梨県)	田中 翔馬(山梨県)

山梨県高体連バスケットボール専門部